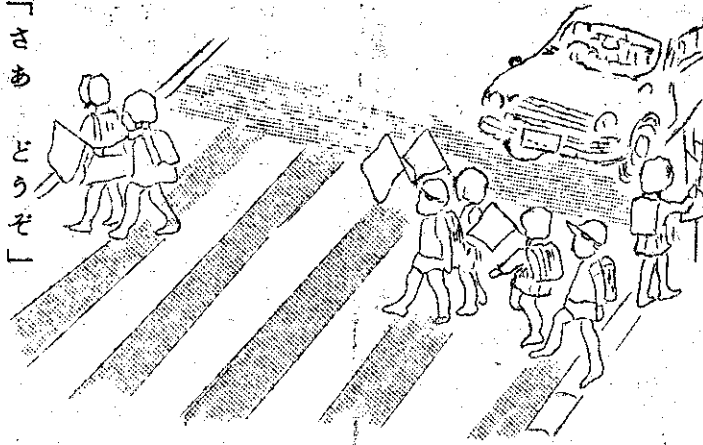


か ん ば

小 報 三
島 育 友 会
一 発 行 一
教 養 部 会 報 班



「さあ どうぞ」
ゆずる気持で おちついて
交通事故をなくしましょう

四年 岡村和枝

「国語教育研究発表大会」の大成功

おめでとうございました。
皆さん、ご苦労さまでした。

会長 本田 巻 男

去る十一月十五日、われわれの三小では、栄えある国語教育研究発表指定校として、県内各地から集られた五百名に上る諸先生方の前で、国語授業の公開と研究の発表が行われました。

昨年その予備的な発表があり、今年はいよいよ本番として、前から先生方も子どもたちも熱心に準備していただけに、当日は一生懸命の発表で実に見事に大会を成功させられました。

これは校長先生はじめ諸先生方の多年の研究と努力が実を結んだもので、子どもたちの学力についても、国語だけでなく他の科目に対しても刺激を与え大きく伸びてきていると聞いております。

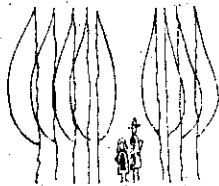
当日は先生方が授業や発表のため手が足らず、育友会役員の方々に

来客の受付、案内、接待の手伝いをお願いしましたところ、それぞれお忙しい中をくり合わせ出ていただき、有難うございました。校内附近のうすら寒いところでの受付や案内、接待さぞおつかれたことと思いま

す。来訪された諸先生方からも、研究の立派なことと、育友会の献身的な協力について、異口同音におほめの言葉を賜り、学校と育友会が一体となつてこの大成功に導いたことを高くたゝえておられました。

われわれ育友会としては今後とも学校の行事はそのまま育友会のものでして共に苦勞し共に喜んで一体となつて教育の発展に努力して行きたいと思ひます。

大会の大成功をご報告して一しよに喜んでいただき、先生方や会員の皆さんの御努力に厚く御礼を申し上げます。



市内童話コンクール

昭和四十二年度の市内小学校童話コンクールが、十月二十九日(日)島原公民館で開かれましたが、本校から、五名の人が出場しました。その中で、六年生の加藤典子さんは、大へん優秀な成績で、高学年の島原市代表として、県大会に出場しました。

県大会でも、大へん優秀な成績で審査員の先生がたをはじめ、多くの聴衆者の胸をうちました。

土曜日の六時三十分

下川尻 北

森川 茂 寿

暗い、まだ明けきらぬ空に明星が輝いている。道端の霜と溝からあがる湯気が白く浮き出て見える。ブルツツ、思わず身震いが出る。北風が肌にさす様だ。

「一郎君行こう」。大きな声をかける。「オー」

家の中からまだ眠り足らぬ様な返事が返えつて来た。

「先に行つているよー」と前より小さい声で言つて僕は馳け出した。

「次郎君行こう」と声をかけた。

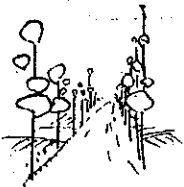
けで返事も待たず僕は広場へ行く。もう二、三人来ている。相手の顔もまだはつきりしない。相手の顔も掃除を始めていると追い追い集つて来た。

しばらくしてから一郎君も来た。一郎君は昨夜テレビのザ・ガードマンを見てから寝たので朝起きるのがつらいのだ。此の次からは早く寝て太郎君を呼びに行く様にしなければならぬ。反省した。

次郎君はとうとう来なかつた。掃除が終わる頃来る人もある。団長に出欠を取つて貰う。その頃になると皆の顔がはつきりして来た。いつも出席する人はきまつている。

ようやく白みかけた東の空にはまだ太陽は顔も出さぬ。何となくすがすがしい気持だ。今日一日の土曜日は、何か良い事が待っている様で非常に楽しい。自分一人で早起きが出来た事が嬉しく誇らしい気持で一杯だ。

太郎君は明るくなりかけた東の空に向かつて大きく大きく深呼吸した。



元舟津少年団の行事の中に、集団登校と、夜回り、日曜日の子供貯金、歳末助け合い街頭募金があります。

「集団登校は、毎朝みんながなかよくそろつて学校に行こう。交通事故からみんなを守ろうと。中学生も、小学生も一諸に登校してあります。もう七年になります。此頃では間違つた考えをもつ親や、子供がいて一諸に行こうとしない子供がいるのが残念です。

二夜回りは六年つづいてあります。島原で一番狭く、一番人口が密集している町内だけに、もし火事が起きたら大変なことになる、みんなを「火の用心」をしようとしてあります。

交代で夜廻りをしてあります。三日曜日の子供貯金は五年前からはじめてあります。

一円でも、五円でも、みんなが辛抱して貯金しようとして、日曜日の午後六時、少年団の役員が受付をします。

この貯金が夏休みの旅行の時に、親に心配をかけず旅行が出来ます。急に金がある時に利用されてあります。

四歳末助け合い街頭募金は六年前からはじめてあります。

正月を迎えるのに、貧しくて困つている人々に、みんなの温かい真心をさしのべ、少しでも楽しいお正月を迎えたいと、少年団員が市内

三ヶ所の街頭に立つて、道行く人々にお願して、集まつた金を歳末助け合い運動の資金に寄付しております。この街頭募金で教えられるものは、真心は人の心に通ずること。人々の真心の美しさ。特にお母さん方のやさしい心づかい。高校生、中学生のお友達が、わずかの小使銭の中から、募金箱に入れてくれる美しい姿に涙が出ます。

少年団の行事の中で、お互に助け合い、立派な行いを積みかさねて、自分自身の心を見がこうと、指導員は忙しい中に少年団員に呼びかけ、いろいろと研究し、努力しておりますが、吾が子さえ勉強が出来るようになればいいと考える親もあり、折角十二年間続いている元舟津少年団も壁につきあたっております。それでも、まじめに協力してくれる少年団員のために、指導員は勿論、親達も、この壁を破るため努力せねばならないと痛感しております。

元舟津少年団
指導員 元 島 和 男

『反省する昨今』

戦争を経験した親と若い世代の親子とも現代つ子。いつの時代かどんな考えかで区別するのはなく、

そこにはある体臭みたいな断層がなんとなく感じられる。PTAは、現代つ子をしあわせにする一つの営みである。すこやかな営みに断層は自らとりのぞかれねばならない。三小のPTAには現在そういう懸念はあまりない。あまりないという事は妥協したり大勢に順応したり「まあまあ。」でおさまっているということである。年令的にも思想的にも、もつと勉強して勇断、是非々々でPTの成長、PTの連絡を密にしていかなければと考える。古い人のいうことだから、新しい役員の見解だからという事で差別的に判断したり順応したりでは成長は望まれない。

先日のテレビ「肩書き」を評論家は現代の敷賞だといつた。だまつて子どもの遊びや会話を聞いてみると、勉強のできる友だちとできない子ども、知名士やブルジョアの子どもの、貧乏な子どもや身なりのまぶしい子どもに差別的な畏敬や服従とぶべつと自尊の態度を示しているところに気付く、子どものころからこういう育ち方をすることによつて次の世代に希望を見出せない昨今ではある。

交通禍から身を守ろうとする動物的本能から、お互い人間同志の精神的なきづな、人権の尊重へと、

ち」を守る高い次への成長をこれからのこととして期待したい。そこにほんとうの道徳教育が生まれ次の世代で汚職派ばつなど人の生き血を吸い利権を争うみにくい人間の斗争がなくなるであろう。親としても、学校の成績と入試準備だけを願う教育ママの根性を省みねばならないだろう。

友情と愛情、親和と協力、そんな性根を学校の教室の中からも家庭の団らんの中からも育て、いきいたいものである。PからTへ、TからPへ、スムーズに話しが通じ合うようになつてこそ子どもはすこやかな成長へ一歩進めていけるだろう。差別のない社会、わが子といえどもその人格をみとめあう社会、圧力や権力を必要としない社会、そのため勉強と努力を、年を送るに際して省りみたたわごと。



「冬休みには

何をしようか？」

——家庭会議のおすゝめ——

冬休み、年末、お正月と、あわただしい時期となつて来ました。あなたのご家庭でも、年末の整理やお正月の準備にお忙しいことでしょう。子どもさんたちも、冬休みやお正月の早く来るのが待ち遠しい、といった落着かない気分のように、こんな時に一度、ぜひ「家庭会議」を開いてみて下さい。話題は十分にあることでしよう。たとえば――

- 一、二学期中の勉強の反省(ただし余り通知表の点数にこだわらないようにして下さい。)
- 一、冬休み中の学習や生活、特に遊びやテレビの時間などの計画
- 一、風邪ひいたり胃腸をこわしたりしないように注意など
- 一、その他各家庭での年末年始の計画……など

会議といつて堅苦しいやり方など考えないで、夕食後おせんについたままで、又はコタツの中で……等テレビを一寸とめて、気軽に話合つてみて下さい。

時には私の家のように「お父ちゃんの前日の酔っぱらいはカッコ良くなかつたよ」などと思いがけないところでやり込められることもあるで

しよう。授業参観でごらんのように、あなたの子どもさんもキツト立派に自分の意見をのべられますよ。そしてこんなところから自分の子どもを見直し、新しい教育のご理解を深めていただけたら幸です。又親子の親しみというのを生れてくることでしよう。

会議で学習や遊び、テレビの計画など決めたら自分で紙に書いてはつておいて必ず実行するようにさせて下さい。そして親もそれを守つて下さい。新学期のはじまる前に、それがどれだけ実行できたかを反省する会議を開くことが出来たら、もう完

べきなものです。どうか難しく考えないで、とに角「先ず実行せよ」してみして下さい。

教養部では、できたら新学期に「家庭会議」のアンケートをとつてみたいと考えております。その節はぜひご協力のほどお願いいたします。

小さな親切



一昨年のごとですが私の不注意からお客様の愛犬がにげ出してしまいました。高価な犬と聞いていたので私は青くなつてさがしていますと、おばちゃんどうしたの。と三小の子供さ

んに聞かれて事情を話しましたら、僕達もさがしてやるといつてあつちこつちさがしてくれました。

買物帰りのおくさんから丸三デパートの近くで見たと聞いて私がかけてしたら僕が自転車で走るから。と云つてさがしに行つてくれました。おかげで犬も無事に帰りほつとしました。子供さんもよかつたねと云つて喜んでくれました。二人の子供さんが最後まで「親切」にしてくれました。心には感謝しました。こんなに嬉しいことはありませんでした。

河北あさ子

こどもと

テレビ



お宅のお子様はいかがでしようか。私の家の子供は毎晩のように夜おそくまでテレビを見て九時半くらいから勉強し十一時半頃になるので、朝は七時過ぎにならないと起きません。それが毎日のようにです。私は何回云つても、なかなか早く勉強しませんのでどうしたらよくなるでしようか？

会員の皆様よい方法がありましたら教えて下さい。

浦田町上 坪田好子

が ん ば

中尾 榮

「ヨイイ」一瞬の児童等の斗魂は激しい気魄となつて、全身に張り小学生ならではの秋季大運動会、プログラムは進み五、六年のマラソンの部だ。「ドン」生徒達は自分自分のペースに馴染ませながらすべり出し人波は近づき、私の子供も私を覆う様に走り去つた。入学以来毎年一年の大部分を欠席する子に 鳴かず飛ばずでも良い。何事も地道に「忍耐」の課題だ。走り通すのだ。誇大な表現かも知れないが基礎体力養成と云う意味からも、とにかく「忍耐に慣れる」と親子 スーペース「ハイハイ」と二、三日前迄幾日走つた事か。今迄病氣勝なゆえか周囲の過剰庇護の為か 向学心をもやす事もなく、もちろんライバル意識を高めようとして、結果的には過剰庇護の方へ走りレジスタンスとなつて現われる。又は劣等意識から来る反撥であつたかも知れない。「自己卑下」。だめだ。自分にもつと自信をもつて自発的に事にあたれと 何回となく声を大にユツとはいつて来る事を待ち望んでいると、以外にも中位を比較的順調な足どりで確保したのである。ササいな事の様であるが予想外の成績に全く正直に驚かされた。発揮できた

粘着力と忍耐力を汗臭い肩越しにほめたたへ帰宅後の座談。中でマラソンだけではなく、やればできると、自信と勇気が出た事を強調している点、良き鞭であつたようだ。以後家庭内に於ける態度は一変し、過去の生活習性から来たものを振り切り快活に自発的行動をモットーに進んでいる。

欠陥をつけば限りはない。前よりも違つた意味でのティコウは強まつたようだが、其の善悪は批評したくない。むしろ進んでいる裏打ちと喜んでいいる。

私は私なりにわが子の摺み方にはき違えがないよう、理解と愛情の中に芽ばえてくる信頼と、愛情の中から生れくる何かを求め、少しでも進歩的な指導力を身につけ子供等を啓もうしていかねばと痛切に感じると共に今更乍ら諸先生方の理解と、生徒を推服させていくだけの人間的大きさには頭が下る思いです。

小体連について

毎年小体連が盛大に開催され、その勝敗について少年団の集会の際に高学年は力を入れて話し合つておりますが、低学年の子供はみていないので、話の中に入ることが出来づ只黙つてきいております。私はその話しをきき又その様子をみながらどうして全校生徒が揃つて応援に行けないのか不思議に思います。低学年の生徒も、お兄さん、お姉さんの走る。跳ぶ姿をみて大きな声援を送りたいのではないのでしょうか。次に親も子供達といつしよに応援できるように日曜日に開催はできないのか。そして市民体育祭のように靈丘公園で開かれ多くの人々に応援見学させていたきたい。出来得るならば出場選手名を印刷して事前に家庭に配布して下さるよう希望します。

交通安全標語

- ※ 右がわは私の行く道かえる道
- ※ もう一度よく見てわたれ手を上げて
- ※ 手を上げる 子供はあなたを信じてる
- ※ とびだすな 車はきゆうにとまらない
- ※ 一びよりまつ心のゆとりが身をまもる



オヤジの教育

小説「人生劇場」から

川尻町 山本真五郎

私が酔つばらうとよく出す歌に「人生劇場」があります。村田英雄が歌つて皆さんよくおなじみの「やると思えばどこまでやるさ・・・」というやつです。尾崎士郎原作の小説「人生劇場」の映画主題歌で、一ト昔前にもはやつたことがあるそうです。最近本屋でその本の「青春編」を見かけましたので早速買つて読んでみました。

ところが、その中にはケンカあり、恋愛あり、学生ストありで波瀾万丈実に面白くて途中でやめられず、とうとう夜をかまでかゝつて読みあげてしまいました。あとこの本はPTA文庫に入れてもらいますので、興味のある方は借りてお読み下さい。話のヌジは、清水の次郎長の物語りのうち、荒神山の一節で名高い吉良の仁吉の生れた三州吉良港。その旧家に生れた青成瓢吉は、臆病で意気地のない少年でしたが「一人前の男になれ」という父親瓢太郎のスパルタ式教育によつて、だんだんとたくましく育つて行きます。郷里の小、中学を卒えて上京し、早稲田の学生となりますが、「銅像問題

」のキツカケを作り学園騒動の中心となつて活躍します。しかし、間もなく学校に愛想をつかして退学し、その間料理屋の女中と恋愛し同棲したりしますが、一家の没落と父親の自殺から、生活の建て直しを決意し友人たちといろいろと画策する。というところで「青春編」は終わります。

原作はこのあと長々とつゞき、吉良常とか、飛車角などという快人物が大活躍して、さらに面白いのだそうですが、これまでのところで私は父親瓢太郎の教育法に興味を持ちました。小説をこんな読み方するのは野暮なこと、原作者も迷惑でしょうが、又私の受けとり方、感じ方も一方的かもしれませんが、とにかく角をえさせられるところがありました。瓢太郎の教育法は、自分自身がぐうたらで無鉄砲なため無茶なところがあります。

一、瓢吉の臆病や意気地なしをなそうと、自宅うらのイチヨウの木に登ることを命じて、へばりついてもすぐすべり落ちてペソをかく瓢吉をしかりつけながら毎日それをつづけさせとうとう一ト月もしないうちに頂上まで登れるようにして、自信をつけさせました。

一、吉良の仁吉のえらかつたことを多分に誇張を加えながらくり返し話

して聞かせ「ひとの真似をするんじやねえぞ」「ひとりですつと立つてゆけ、やりてえことがあつたらこつそりやらねえで大びらにやれよ」など、自立心を教え込み、「ひとをだしにつかつて手前の方だけうまくつくろうよ」なことをするな」と勇気と責任感をたたき込みます。

一、中学のとき悪さをして学校から呼び出しをうけた時「算数や英語だけうまくなれと言うじやねえ、どんな悪たれをやつてもいいぞ。早く学校を出て立派な男になれ」と激励したりします。

こうやつてしつけられた瓢吉は、吉良常や半助などの昔から出入りの自称「子分」や学園騒動以来の友人たちに助けられながら「一人前の男」に成長していきます。

おそろく後の編に於てもちやんと「男らしく」やつていくだろうと思えます。

私が感じたのは、頭がよくて小利口に世渡りするような子どもが多くなつている最近、このように根性のすわつた、男らしい人間(女の子にも同じような「何か」があるように感じますが・・・)を育てる、という見なおしてみてもよいのではないかと、という点です。

そして、子どもの教育については、何も彼も母親まかせて、すつかり権

威の落ちかゝつてゐるわれわれおやじとしても、家庭における「しつけ」の面でもつと大事な役割がありはしないかと思ふからです。

子どもと本を読みましよう

先日こたつの中で、手近にあつた子どもの本をよんでみました。有名な「シャーロック・ホームズのぼうけん」という本ですが、これまで名前にはよく知つていましたけれど、あまり読んでゐるものには興味がなく、まだ読んでゐないものがありました。読みかけたら、止められず、子どもはそつちのけで読みあげました。子供の方でも、仲間ができたように思つて話しかけてきます。「あんな風」に考えられるなんて頭の上かね。つて。そういうことで親子の共通話題ができました。

小学校の子どもの本でしたら、私達にもさほど難しくなくて、原作では大きな本も、適当に分りやすく、ちよびめて書いてありますので、大して骨が折れません。そして、子供と共通の話題ができることは、子どもにとつても楽しい事ですし、自信をつける事にもなるだろうと思ひます。又話合ひによつて子どもの考えの深さもわかりますし、感想文など中々書かない子供も、自分の言葉で話す

事は案外たやすいらしく、考えを話してくれれます。私達父母にとつては忙しい年末年始の時ですが、仕事の一だんらくの時、夜が長いし、子供達は今テストから開放されているときですし、強制的でなく、子供の興味のある本を、一緒に開いてみたらいかゞでしょうか。

新記録三

タイ記録一

市内小体連に輝く三小の成果―市内小学校児童のスポーツの祭典である第四回島原市小学校体育大会は十月十七日、二の丸運動場で開かれたが、昨年に続いて三小の各選手共よく頑張つて好記録を樹立、体力の伸長を示しました

- 五〇米走
 - ①細名なるみ
 - ②田中千秋
- 六年女
 - ①加藤典子(タイ記録)
- 一〇〇米
 - ①林田きみ子
 - ③高木良恵
- 四年女
 - ②堀口雅彦
- 五年男
 - ①内田雅子(新記録)
- 五年女
 - ①石橋雅一
- 二〇〇米
 - ③梅田恵市
- 六年男
 - ①前川安則
- 一五〇米
 - ④〇〇リレー
- 四〇〇リレー
 - ②三小チーム
- 四〇〇米
 - ③三小チーム
- 五年女
 - ①三小チーム
- 五年女
 - ③三小チーム
- 六年女
 - ④〇〇リレー
- 八〇〇リレー
 - ②三小チーム
- 五年男
 - ③三小チーム

- 六年男
 - ②三小チーム
- 走巾跳
 - ①松田初代
 - ②植田八重子
- 四年女
 - ①本田哲也
- 五年男
 - ①永川保子
 - ③鈴木一弘
- 五年女
 - ②木下 朗
- 走高跳
 - ①片山集代
 - ①山下和彦(新記録)
- 五年男
 - ①石橋教子
 - ①宮崎 博
- 六年女
 - ①水江純子
 - ②光永和美
- 六年男
 - ②藤田 猛
 - ③高田周明
- けんすい
 - ①高口敏広(新記録)
- 五年女
 - ①高口敏広(新記録)
- 五年男
 - ①高口敏広(新記録)
- 六年男
 - ①高口敏広(新記録)

編集後記

会報班

十二月十一日の夜、十一時すぎ「がんば」第八号の初声を聞いた。会報班員の歓声の中で、第八号は、八面編成と、前号より二面拡大にふみきり多数のご寄稿を全部掲載することに成功した。ここに改めてご寄稿下さった皆様方に感謝申し上げます。

- 編集長
 - 阿部哲也
 - 副編集長
 - 伊藤八郎
- 編集員
 - 小鉢 京
 - 木下 宏
 - 伊藤一男
 - 石橋源七
 - 江崎亮一郎
 - 猪原孝舜
 - 上田和代
 - 本田はるみ

冬休みの

生活指導について

生 活 部

二十四日から一月七日までの冬休みが近づきました。
学校としては、本年度、指導の重点として、次の五つのがらを、とりあげています。

一、冬休みの生活計画を自主的に立てさせ、規則正しい生活をさせる。

二、児童自身が常に、積極的に、健康安全に留意し、冬休みをとおして、基礎体力の養成に、つとめさせる。

三、家庭の一員として、役立つことを実行するよう指導する。

四、近所の人や、友だちに、よく挨拶をし、礼儀正しい生活を、させる。

五、事故や非行がないよう、留意させる。

児童たちには、以上のことがらを中心に、児童会で、守ることがらを決めさせ、プリントで、各家庭にも配付いたしますので、よく、お読み下さつて、実行さしてください。

ベルマークを

集めましょう

ベルマークを町内又はお店屋さんでお会いするお母さん達に呼びかけて皆さん協力して下さいましてたくさん集まりました。ベルマークで何ですかと御存じでない方がたくさんおられますので、広く呼びかけたらたくさん集まると思います。
子供達にもキャラメル、チョココレット等の外箱などを捨てないよう願っています。
切り取つたマークはいつでも学校に持たせましょう。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

○読書感想文の入賞

本年度応募しました読書感想文コンクールで次の人たちが入賞しました

◎西日本新聞社賞

最優秀賞 一年 上田武博君
佳作 四年 上田智美さん

◎長崎新聞社賞

優秀賞 六年 時合洋子さん
入選 一年 大島リエさん

市内読書感想文コンクール入賞者は、時合洋子さんほか、二十一名でした

入賞者の皆さん、本当におめでとうございました。これからもしつかり頑張つて下さい

第三学期の主な行事

新しい年をむかえたかと思つと第三学期がはじまります。

第三学期は一、二学期にくらべるとみじかい期間ですが、最後のしめくりをする大切な学期です。

始業式 一月八日

校内球技大会 二月中旬

校内園工展 二月中旬

学年音楽会 二月下旬

遠足会 三月上旬

柔剣道大会 三月上旬

卒業式 三月二十日

修業式 三月二十四日